

かみのやまの未来のまちづくり について話す会

第2期都市マスタープラン策定に係る住民懇談会 第2回

10月18日にエリア合同（北部エリア、中部エリア、南部エリア）で「第2期都市マスタープラン策定に係る住民懇談会 第2回」を開催し、総勢41名の方にご参加いただきました。前回のワークショップでは、各エリアの中で3グループに分かれて、エリアの課題・魅力、それらに対する取組について話し合いました。

今回は、前回のグループ別の意見をエリアごとにまとめ、重要視する課題・魅力、必要な取組、将来像の共有を図りました。

前回のワークショップでのおさらい

北部エリア

Aグループ

安心・安全がみえるまち

- 街灯を明るくし、道路の拡幅やガードレールの設置など
- 災害に対する平常時からの備えなど

Bグループ

上山市の人口を増やす!!

- 子育て世代の住居環境づくり、空き家の活用、コミュニティ集いの場など住環境整備
- 拠点整備や多様なニーズに合わせた観光プラン など

Cグループ

新旧コミュニティが つながるまち

- 空き家専門の機構をつくるなど行政主導で空き家対策
- 空き家の地区会利用、農地と一体となった利用促進など空き家の活用 など

中部エリア

Aグループ

年をとっても快適な かみのやまの“ど”まんなか☆

- 空き家バンクの活性化・担い手づくりなどリノベーション増やす
- 循環バスを利用して歩いて高齢者が買物できるように など

Bグループ

今あるものを活かしていく まちづくり

- 商店街に歩行者専用の時間帯をつくって周辺環境整備を連携
- 道路は新しく作らず今の道路を改修して使いやすい など

Cグループ

災害や雪に対して安全に暮らせる 温泉と歴史が感じられるまち

- 温泉街、城下町の風情を感じられるような舗装
- 災害時避難に備えた地区内の連絡網や役割分担、情報共有 など

南部エリア

Aグループ

「きずな」と「つながり」と 「助け合い」で暮らすまち

- 新規ICから中心部への誘導
- 緊急車両が入れない場所に対する道路整備 など

Bグループ

交流を豊かにして 住みよいまちをつくる

- 新規ICを活かした工業団地により雇用を拡大
- 道路や情報などにより工・農・街をつなげて活性化 など

Cグループ

居住・商業・観光が 一体となった歩いて暮らせて 未来に残せるまちづくり

- 河川整備や住民の防災意識の向上など防災面の充実
- 憩いの場や公衆浴場など商業と観光を一体とした整備 など

約2時間半という長丁場でしたが、ご参加いただいたみなさまありがとうございました。

今回のワークショップで出いただいた意見をもとに、都市マスタープラン・エリア別構想を作成してまいります。

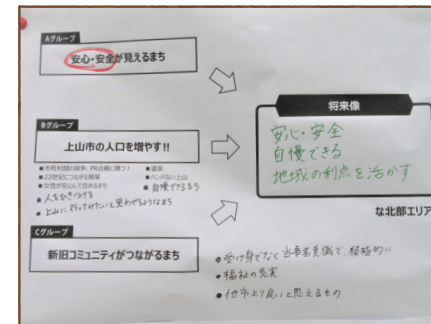
お問合せ

上山市建設課都市計画係（担当：鎌水・遠藤） ☎ TEL: 672-1111 内線 426

北部エリア

将来像へつながるイメージ

- 安全・安心
- 良いところを活かしてPRしていく
 - ・当事者意識で積極的に
 - ・他市より良いと思えるものを意識する
 - ・福祉の充実など
- 地域の利点を活かす
(温泉健康施設、山形市隣接、鉄道駅)
- 新旧コミュニティがつながる



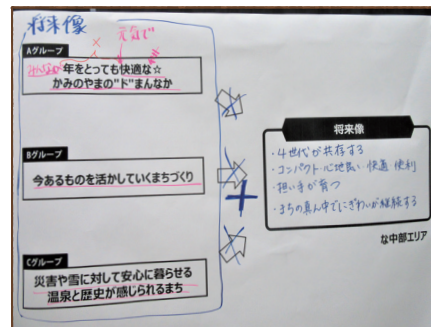
重要視する課題・魅力及び取組

	小項目	課題(▲)・魅力(●)	取組
交通体系	道路	▲身近な道路の安全を確保したい	・街灯の明るさ向上、道路の拡幅、ガードレールの設置など
		▲幅員が狭い	・無電柱化や側溝の整備など市からの助成
		▲高齢者がシニアカー利用の際に危険	・シニアカー乗車時の安全が確保できる道路整備
市街地整備	都市機能/商業・観光	▲スーパーが歩いて行ける範囲にない	・商業施設の日常利用による維持、宅配サービス・移動販売への支援・充実、買い物送迎など
		●コストコ	・コストコと併せて立ち寄れる他施設の整備
		▲温泉、クアオルト、武家屋敷が つながる拠点がほしい ●小さい温泉も残したい	・拠点の整備や多様なニーズに応えるプラン
防災	防災対策	●山形市と上山市の間という よい位置にある	・回遊性向上や集客、観光のためエリア内の施設や跡地の整備・開発
		▲避難に適した施設にしたい	
		▲避難の時に川のせいで他地区へ 横断しにくい	・河川対策、施設設備の強化、市全体の防災整備を国に要望など

中部エリア

将来像へつながるイメージ

- 4世代が共存する
- コンパクト、心地よい、快適、便利
- 担い手が育つ
- まちの真ん中で賑わいが継続する
- みんなが元気で快適
- 今あるものを活かす
- 災害や雪に対して安心な暮らし
- 温泉と歴史が感じられる



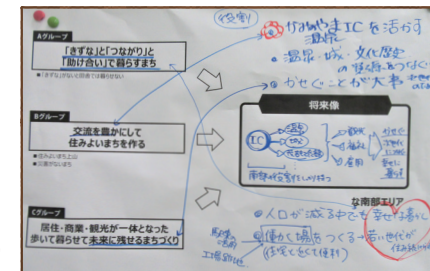
重要視する課題・魅力及び取組

	小項目	課題(▲)・魅力(●)	取組
交通体系	道路	▲長期未着手の都市計画道路の存在及び伴う周辺整備の遅れ	・必要性による都市計画道路の見直し
市街地整備	都市機能/公共施設	▲昔は中心市街地に公共施設があった ▲公民館の充実した整備(設備、利用時など)	・高齢者が利用しやすい公共施設などが集まったまちづくり ・小学校を核に多世代が交流できる施設の整備やコンパクトシティを目指した整備
	都市機能/医療・福祉など	▲クアオルト以外の医療費の削減高齡化対策が必要	・市民を巻き込んだ健康づくりプラン
景観	歴史・文化的景観	▲温泉街の雰囲気が高い	・足湯や温泉街、城下町の風情を感じられる舗装
		●古い建造物や蔵王の眺望などの資源の保存	・市の一体的な資源の歴史的背景の調査・整理
		▲商店街に電柱が多くて歩きにくく、魅力がない	・無電柱化や時間帯による車両通行止め
		▲上山市には景観条例がない	・景観条例の制定など行政側での対応

南部エリア

将来像へつながるイメージ

- かみのやま温泉 IC から市内の資源へつなぎ交流を豊かにする
- 次世代のために稼ぐ、未来に残せるまち
- 地区の「きずな」と「つながり」と「助け合い」
- 若い世代が住み続けられるために住環境+働く場の確保



重要視する課題・魅力及び取組

	小項目	課題(▲)・魅力(●)	取組
土地利用	住居系	●活用可能な未利用地がある	・区画整理による住宅整備、未利用地の活用による雇用の場の創出
	工業系	▲新しいICを活かした工業団地がほしい ▲働く場所が少ない	・新しい工業団地の坪単価を下げる ・雇用の拡大
	自然系	▲営農継続のための土地利用規制が有効に機能していない	・本来の目的に合った規制の見直し、農地活用を兼ねた新たな取り組みの検討
交通体系	道路	▲上山で人をおろしたい ▲高速夜行バスと観光案内所などの連携が取れていない	・温泉を利用したIC付近のまちの顔づくり、道の駅づくり ・交通手段と連携した受入体制の整備、担当部署や官民を超えた連携によるサービス向上
	公共交通	▲車を運転できない高齢者が増えている ●循環バスが便利(買物環境改善)	・年配者用やワンコインなどの定額タクシー、循環バスのPR
市街地整備	都市機能/商業・観光	▲駅東に何も無い、温泉を感じられるものがほしい ●市の資源(山、温泉)を有効活用したい	(・医療・福祉などの視点で整理)
	都市機能/医療・福祉など	▲いいこの場がない ▲駅周辺で老人福祉施設の検討をした方がいい ●新幹線駅直結、首都圏とつながる利便性	・くつろげる場所の整備 ・利便性が高い場所に老人ホームを整備(駅周辺など) ・ターゲットごとの様々な施設の整備(高齢者住宅や温泉を利用した施設、保育園の複合的配置など)
景観	歴史・文化的景観		・まち全体で担当部署や官民を超えた連携で検討する体制づくり
その他		●金生地区盆踊りは残したい	・市が中心となる地区以上のまとまりづくり